

平成 24 年 8 月 1 日

通院中の患者さんへ

(当院で行っている研究についてのお願いです)

[研究課題名] 術前トラスツマブ+細胞障害性抗癌薬の併用療法後に病理組織学的完全奏効(乳房)の得られた症例の予後に関する調査研究

[主たる研究機関] 京都大学医学部附属病院 乳腺外科
主任研究者: 京都大学医学部附属病院 乳腺外科学 戸井 雅和

当院では、乳がん患者さんを対象として、術前化学療法を行った後の経過(予後)を調べる研究を実施しております。この研究は、カルテからの情報をまとめることによって行います。

●対象となる患者さん

2001年1月1日から2010年12月31日の間に、HER2陽性乳がんと診断され術前化学療法を受けた女性の方の中から、担当医が選択をします。

●利用するカルテ情報

1. 生年月
2. 性別
3. 身長・体重など
4. これまでの治療経過
5. 各種検査の結果
6. 転移や再発があったかどうかなどの予後に関する情報

お名前・住所などの個人情報に関わるデータは一切使用いたしませんので、
対象者個人が特定されるような情報は一切公表されません。

※この研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の承認を得ております。

※この研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

[問い合わせ先]

京都大学医学部附属病院 乳腺外科 担当医師 高田 正泰
電話: 075-751-3660 FAX: 075-751-3616